

インテリア 科	科目名	インテリアエレメント生産	担当者	
履修学科	インテリア科			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	インテリアの分野で使用される木材を中心とした各種材料の性質と家具の構成や機械の特性・操作について理解し、工業技術基礎や課題研究等の製作実習の基礎的知識を学ぶ。			
評価基準及び方法	定期テスト、小テストまた課題の提出物等を中心にし、授業態度・出席等を総合的に判断し評価します。			
使用教科書及び教材	株式会社海文堂「インテリアエレメント生産」 その他 工具や模型			
その他留意点	実習等に関連づけて学習する			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	インテリアエレメントの構造	オリエンテーション・①分類	
5	家具	②椅子 ベット③テーブル机デスク ④収納家具⑤その他⑥家具強度	
6	建具	①建具の分類②内部用建具③金具類	
7	テキスタイル製品	①カーテン②椅子張り地③カーペット④ホームリネン	
9	窓周り部品 壁装材料	①種類と製品②カーテン③スクリーン④ブラインド①種類と製法	
10	壁装材料 照明器具 木材加工 金属加工	②種類と製法①光の性質②加工の能率化 ①生産設備と加工	
11	金属加工	①生産設備と加工	
12	金属加工	②加工の能率化	
1	生産管理の基礎	①産業構造の変化②生産計画③工程管理	
2	生産技術	④品質管理⑤安全衛生管理	
3	総まとめ	エレメント生産総まとめ	

インテリア科	科目名	インテリア装備	校長印		教頭印	
履修学科	インテリア科				担当者	
履修学年	第2学年		履修単位	2単位		
概要及び目標	建築構造、建築設備、インテリアの構造、構成・材料、維持保全、関連法規などの基礎知識を習得し、多様化する建築施工と技術に対応できる能力を身につけさせる。					
評価基準及び方法	定期テスト、小テスト、定期課題、提出物等を中心にし、授業態度や出席などを総合的に判断し評価する。					
使用教科書及び教材	文部科学省「インテリア装備」東京電機大学発行 建築図面、模型、提示物、建築関連書物					
その他留意点	実習等に関連づけて学習する。					

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	建築の構造 概要	構造技術の発達 構造の種類と構成	
5	建築の構造 木構造	地業と基礎 軸組	
6	建築の構造 木構造	床組 小屋組	
7	建築の構造 鉄骨構造	枠組壁構法 その他	
8			
9	建築の構造 鉄骨構造	骨組 耐火被覆	
10	建築の構造 鉄筋コンクリート構造	鉄筋コンクリート構造の特徴 材料と施行	
11	建築の構造 鉄筋コンクリート構造	主体構造 防水	
12	建築の構造 鉄筋コンクリート構造	鉄骨鉄筋コンクリート構造	
1	建築の構造 その他の構造と構法	いろいろな構造	
2	インテリアの施行法 施行の概要	躯体と仕上げ 下地	
3	インテリアの施行法 施行の概要	仕上げ	

インテリア 科	科目名	実習	校長印		教頭印	
履修学科	インテリア科		担当者			
履修学年	第 2 学年	履修単位	6 単位			
概要及び目標	2年実習は、木工・NC班, グローブ班, 模型・溶接班, 工芸I・プレ技班の4グループにわかれ、7週ごとのローテーションでものづくりの基礎を学習する。					
評価基準・及び方法	課題提出物などを中心にし、授業態度や出席などを総合的に判断し評価する。					
使用教科書 及び教材	・カンナ・砥石・金剛砂・画用紙・ケント紙・鉛筆・消しゴム（練り消しゴム）・絵の具・筆・ポスターカラー・木材・パソコン・ラッカー塗料・ウレタン塗料・オイルステイン・サンドペーパー・NCルータ・丸鋸					
その他留意点	6単位の实習を各分野に関連づけてローテーションで行い、学習する					

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	合同説明 授業説明（木工・NC班, グローブ班, 模型・溶接班, 工芸I・プレ技班） 【木工・NC】①	オリエンテーション：年間で4班のローテーションで授業を行う。 各班にて授業準備や学習の進め方等の説明。 【木工】 NCルータを操作し、木材加工を学ぶにあたり、工具の名称、使い方等を学ぶ。	
5	【木工・NC】②	NCルータの概要・NCルータの加工手順 NCルータプログラミング加工練習	
6	【木工・NC】③	NCルータプログラミング加工練習 作品制作・組立て、磨き、塗装	
7	【グローブ】①	「3Dソフト」による部屋の設計練習 コンセプト設定とエスキスから部屋図面作成	
9	【グローブ】③	住宅図面作成（平面計画、立面計画、模型作成）	
10	【模型・溶接】①	【模型】1/20 平面図、立面図、スケール家具の模型製作。 【溶接】溶接の種類、継ぎ手と溶接記号、工具と保護具	
11	【模型・溶接】②	【模型】窓枠のくり抜きやガラス面の作成、各部材の接着、組立 【溶接】アーク溶接の基礎知識と実習	
12	【模型・溶接】③	【模型】立方体を様々な組立て方で作成 【溶接】ガス溶接の基礎知識と実習	
1	【工芸I】①	材料の種類、用具の種類を学ぶ	
2	【工芸I】②	工芸品作成の基礎的知識と実習① インテリアデザインアプリ機能の基本操作練習	
3	【工芸I】③	工芸品作成の基礎的知識と実習② 画像処理基礎の習得と応用（ビジュアルデザイン）	

インテリア	科	科目名	選択A「福祉と暮らし」	担当者	
履修学科		情報技術科・インテリア科・デザイン科			
履修学年		第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	高齢社会の現在の日本において、福祉の重要性を理解し、「福祉住環境コーディネータ検定」にチャレンジすることによって、住環境におけるユニバーサルデザインの精神を身に付ける。				
評価基準及び方法	定期テスト、小テストまた課題の提出物等を中心にし、授業態度・出席等を総合的に判断し評価します。				
使用教科書及び教材	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 東京商工会議所編 ・過去問題集 HIPS 合格対策プロジェクト編 				
その他留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に関連づけて学習する ・医療、福祉、建築の多面的な知識を体系的に身に付け、福祉住環境に興味を持ち、将来の個々の立場で活かせる人材育成を図る。 				

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	第1章 暮らしやすい生活環境 をめざして	オリエンテーション 1節 少子高齢社会と共生社会への道	
5		2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 3節 住宅生活の維持とケアサービス	
6	健康と自立をめざして	1節 高齢者の健康と自立	
7		2節 障害者が生活の不自由を克服する道	
9	バリアフリーとユニバーサルデザイン	1節 バリアフリーとユニバーサルデザインを考える	
10		2節 生活を支えるさまざまな用具	
11	安全・安心・快適な住まい	1節 住まいの整備のための基本技術	
12		2節 生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
1	安心できる住生活とまちづくり	1節 ライフスタイルの多様化と住まい	
2		2節 安心できる住生活	
3		3節 安心して暮らせるまちづくり	